

1 ニンジンイソギンチャク (ウメボシイソギンチャク科) 兵庫県ランク:A

*Paracondylactis hertwigi*

環境省ランク:指定なし

種の概要

北海道から九州にかけての各地に分布し、水深10mまでの砂底や干潟に生息する。48本ある触手はほぼ円筒形で、先端で急に細くなる。また色は半透明で白い斑点があり、黒い筋がまっすぐとおっている。体の幅は3~4cmで、下方になるに従い細くなる。名の通り人参のような橙色をしており、表面は疣がなく滑らかである。砂中の大き目の石や貝殻などに足盤を付けて体を伸ばし、砂底に触手を開く。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
			○	○			○

県内分布

姫路市、赤穂市

県内における生息状況及びその他特記事項

要調査からAに変更。潮間帯では赤穂市と姫路市の前浜干潟のみで確認されているが、生息数は極めて少ない。数十年ほど前は播磨灘の底曳漁でよく混獲されていたが、近年は混獲されることはない。

保護上の留意点

マテガイなどの生息する前浜干潟の砂泥底の保全に留意する。



写真提供：増田修



【執筆者】 岩村文雄